

【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（ 河辺 ）小学校

### 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数AB・・・言葉や式を用いて答える設問、資料をもとに考察したり、説明を書いたりする設問の無回答率が高い。 国語AB・・・文章で解答する問題に対して無回答率が高く、自分の考えを書いて表現することが苦手と感じる児童が多い。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	「問題データベース」を活用し、朝学習や授業中、宿題などに全校で取り組む。	B	A問題、活用問題を、問題データベースを使用し類似問題を解く(100%)
①	基礎基本の定着を図るため、算数すいすいタイム・国語わくわくタイム・漢字タイムの年間継続的实施をする。	A	・前年度までの学習内容を確認することでつまずきを発見し、基礎基本の定着に努める。3学期は学年のまとめや全国学力調査の過去問題にも取り組む。 ・すいすいテスト、漢字テストを実施し、定着の度合いを確認する(80%以上)。
②	家庭学習のふり返しをする「うさかめカード」の提出率100%をめざし、保護者へのよびかけを積極的に行い、家庭学習の習慣と定着を図る。	B	・うさかめカードの提出率を100%に近づける。(現在約9割) ・家庭学習時間(低20分、中40分、高60分以上)を80%以上にする。(現在56%) ・自分から進んで家庭学習をしている児童は、児童アンケート調査より85%であり、少しずつアップしてきている。
③	グループ学習やペア学習を取り入れた学び合いを大切に授業に取り組む。	B	・話を聴くことを意識させ、子ども同士がつながる効果的な学習形態や学習活動を取り入れる。
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った(100%を超えている)」「A：目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B：目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C：目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D：目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E：目標を達成できなかった(30%未満)」</p>			